

発行：福岡地区労働組合総連合
〒812-0016
福岡市博多区博多駅南1-9-8
ケイ・アイビル2F
TEL 092-433-3338
FAX 092-433-3535
Mail : fukuciku@gmail.com



(HPはこちら)

2025
5月号

福岡地区労連

第96回福岡県中央統一メーデー

最低賃金の大幅引き上げ実現のために

労働組合が

注目されている今こそ



↑ 警固公園に結集するメーデー参加者たち



↑ 各団体がメーデーに参加



↑ にぎわうイベントブース



↓ オリジナルフラッグを作成してデモに参加



↓ 天神駅を出発するデモ行進

福岡中央統一メーデー実行委員会は、5月1日、福岡市警固公園で第96回メーデーを開催しました。今年のメーデーは、「働くものの団結で生活と権利を守り、一人ひとりが大切にされる社会の実現」をメインテーマに

福岡地区の労働者が決起しました。三苦哲也実行委員長は、「労働組合がなければ、私たちの命さえも危ないような賃金、労働条件。こういう状況の中において労働組合が本当に注目されています。」と訴えま

した。メーデー宣言では、「昨年の24春闘は27年ぶりに組合員ひとり1万163円(3.49%)の賃上げを勝ち取っています。今年の25春闘では多くの労働組合がストライキに立ち上がり生活できる賃金を求

めて交渉を続けています。職場を変えることができるのは労働組合だけです。最低賃金の大幅引き上げの実現のために、様々な団体と連携して奮闘しよう」と宣言し採択されました。

メーデー会場では、イベントブースを福岡医療労組、福祉保育労、福岡地区国公などが出し、今年も引き続き「仲間の働き方クイズ大会」が開催され、

会場は大いに盛り上がりました。アピールコンテストでは、4団体からデコレーションやプラカードが展示されたほか、アピールもあり会場はひとときわにぎ

わいました。集会終了後は、全団体が天神周辺をパレードしました。参加者は約500人でした。(編集委員 松尾)

私たちメーデーに参加しました

メーデーに参加するのが難しくなっています。一般の方ももっとメーデーを知ってもらって気軽に参加できるメーデーにしていきたいです。



福岡医療労組

今年は、宣伝カーに付ける横断幕を新入職員と作りました。デモ行進では、この横断幕をつけた車で行進します。みんなで楽しいメーデーにしましょう。

全司法福岡支部

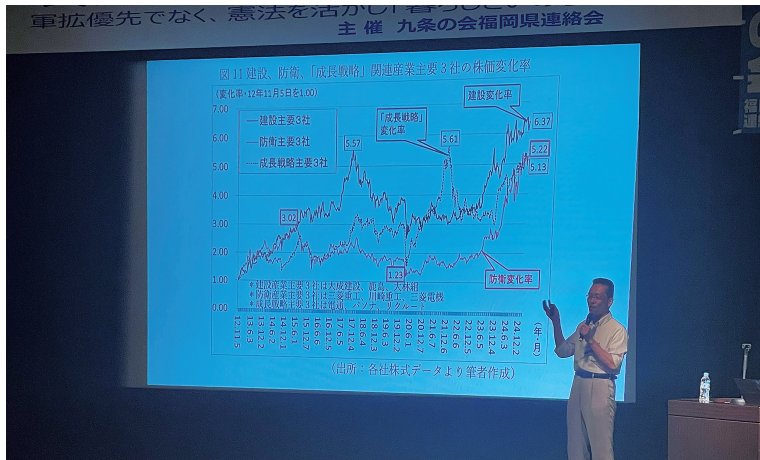
今回のメーデーは楽しかったです。もう少し出店などがあつたらみんながもっと楽しめるメーデーになると思います。もっとメーデーを盛り上げていきましょう。



劇団風の子九州労組

年々、仕事が忙しく

〈5.3憲法施行記念福岡県民集会〉 労働者が目指すべきは平和福祉国家



第2部での下関市立大学経済部の関野秀明教授の講演

福岡九条の会は、5月3日の憲法記念日に早良区市民センターで憲法施行記念福岡県民集会を開催しました。第1部では九州交響楽団のメンバーによる5重奏が行われ、会場はクラシック音楽で魅了されました。

第2部では、下関市立大学経済学部の関野秀明教授による「インフレ不況、改憲政治から出口戦略―新しい平和・福祉国家へ―」の講演が行われました。講演ではアベノミクスのこれまでの経過をグラフで表し、実質賃金の下がり、食料品やエネルギーなどの物価が高騰していることから、インフレ危機に陥り、貧困と格差の拡大が懸念されるデータが明らかにされました。

関野教授は、経済低迷の出口戦略として憲法9条と25条の「平和福祉国家」への政策を進めることで内需主導型経済への転換が重要であると説明しました。日本の社会保障はドイツと比べて17兆円少なく、福祉国家財源を確保するためには大企業・富裕層金融資産の905兆円に課税し、30兆円規模の「税の集め方と使い方」を変える必要があると述べました。



第1部での演奏会

具体的には、大企業・富裕層優遇税制の是正

(証券優遇税制廃止、法人減税中止など)で年間33・3兆円の税収が確立でき、緊急に必要な社会保障(消費税5%引下げ、年金月5,000円引上げ、国保料平均4割引下げ、診療報酬引上げ、保育、介護賃金引上げ2・5万円など)の予算31・6兆円が捻出できると示されました。

- 市民の会
2025年度総会
5月24日(土) 14:00〜チクモクビル
○許すな!労基法解体学習シリーズ
5月29日(木) 18:00〜20:30
○25春のジェンダー平等推進交流集会
5月30日(金) 17:00〜ZOOMミーティング
○県春闘経験交流集会
6月21日(土)

今後のスケジュール

4月20日に築城基地そばの新田原グラウンドにて「平和」というのをみつめる福岡大集会が開催されました。小雨ばらつく天候にも関わらず、九州各県より1300人が集まりました。



新田原グラウンドで報告する福岡県平和委員会代表理事・弁護士の井下顕氏

集会では、高校生平和大使より核兵器廃絶の取り組みの報告や博多湾・福岡空港・北九州空港の軍事利用についても、それぞれ報告があり、オスプレイが築城基地、芦屋基地、福岡空港に飛来し、北九州空港は滑走路の延長で軍用機の使用が可能になる実態が報告されました。これは、佐賀空港にオスプレイの配備、熊本は日米合同演習の強化、宮崎はステルス戦闘機配備など九州全体を米軍の前線基地として、着実に強化が進められています。

集会の最後に、軍事力ではなく平和国家路線による外交努力で、戦争を起こさせない決意と平和で安心して暮らせる社会の実現のために声をあげ、行動しましょうと呼びかけました。

集会後にはデモ行進が行われ、築城基地の米軍基地化反対、佐賀空港のオスプレイ配備反対などを訴えました。(編集委員 松尾)

国民救援会は、死刑が執行された飯塚事件の全国集会と実証調査を4月5日、6日に飯塚市穂波交流センター及び事件現場の八丁峠で行いました。



全国集会参加者による八丁峠で衣服やランドセルが捨てられていた現場を確認

この事件は、1992年飯塚市で発生した、小学生2名が誘拐され、殺害された事件です。逮捕されたA氏の死刑は執行されましたが、証拠の信用が乏しいと言わざるを得ず、冤罪の疑いが持ち上がり、現在も再審請求されています。

〈平和といのちをみつめる福岡大集会〉 九州の軍事化を許さない

〈国民救援会・飯塚事件全国調査集会〉 国家権力の捏造や弾圧は許されない

た。6月6日から6月8日までに行われる、ゆふいん文化・記録映画祭でも上映されます。(上映日程は主催者ホームページでご確認ください。)

国民救援会は、国家権力が捏造した事件や活動家が弾圧される事件の救済活動を行っており、近年でも警察が職務質問し、車両の中のある捜しをして、工具などの所持に対して活動家を逮捕する事件が起こっています。福岡地区労連は、これからも国民救援会と活動を共有していきます。(編集委員 内田)